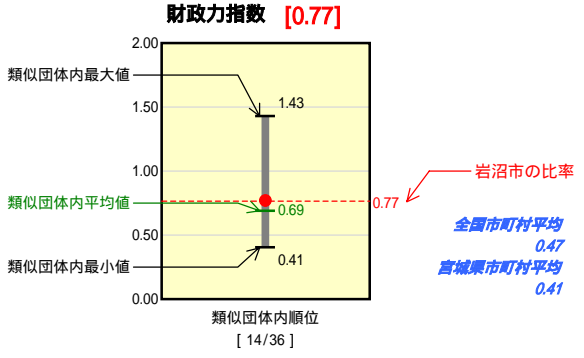


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

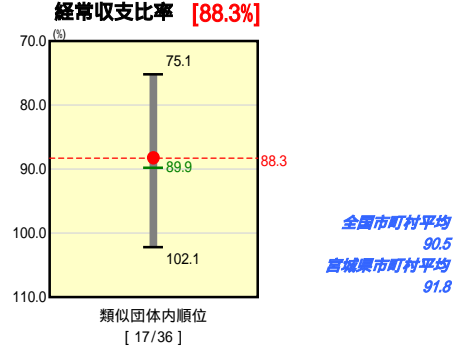
宮城県 岩沼市

人口	43,426人(H17.3.31現在)
面積	60.72 km ²
歳入総額	12,643,979千円
歳出総額	12,333,452千円
実質収支	306,421千円

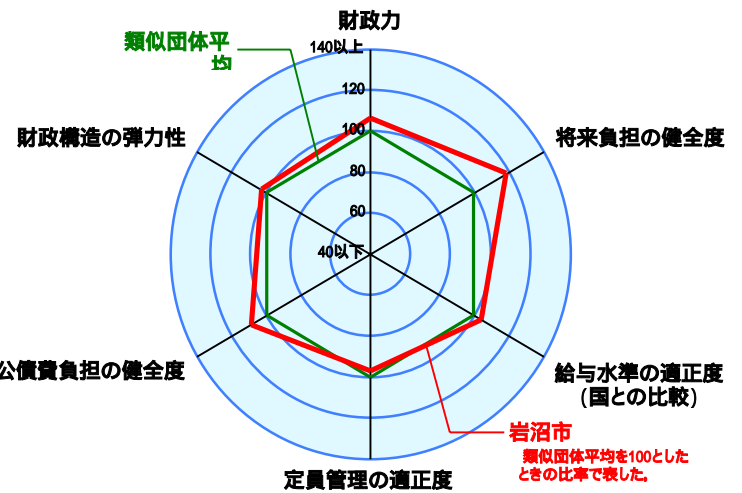
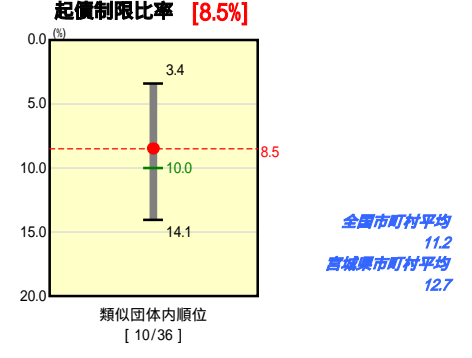
財政力



財政構造の弾力性



公債費負担の健全度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析概

財政力指数
・ここ数年は連続した伸びを見せている(H13:0.72, H14:0.73, H15:0.76, H16:0.77)、今後も税の徴収強化等により、歳入の確保に努める。

経常収支比率
・全国市町村、類似団体平均を下回っているが、福祉関係経費の増加により比率は年々増加している(対前年比0.2ポイント上昇)。人件費に係るものが35%前後と高い水準にあるため、「集中改革プラン」に掲げた新規採用の抑制による職員数の減(28人)、手当の見直し等給与の適正化(管理職手当を定率制から定額制に見直す)による人件費の削減(時間外手当は各年5%削減)など、行政改革の取組みを通じて義務的経費の削減に努め、現在の水準を維持する。

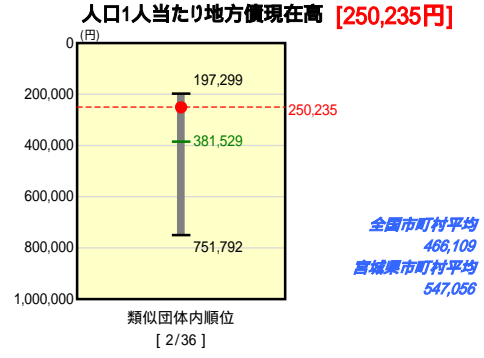
起債制限比率
・過去からの起債抑制策により、類似団体平均を下回る8.4%となっているが、今後とも引き続き、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

人口1人当たり地方債現在高
・近年、大規模事業が少なかったため、現在のところ類似団体平均を下回っているが、今後平成20年に消防庁舎・図書館施設等建設事業を予定しており、新規の地方債発行が見込まれる。このことから、他事業における地方債の発行を抑制しつつ、類似団体平均を上回ることがないように努める。

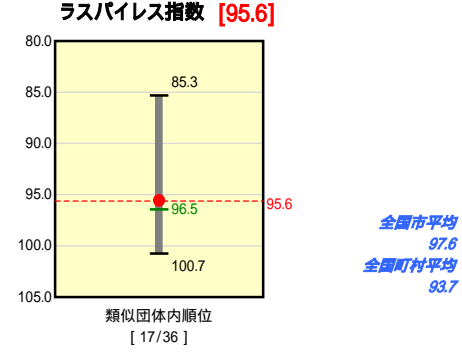
ラスパイレス指数
・高齢職員の昇給停止措置や特別昇給の縮減等により、類似団体の中で平均的な水準にある。今後も、年功的昇給制度の見直しの実施等により一層の給与の適正化に努める。

人口1,000人当たり職員数
・類似団体の中で平均的な水準にある。職員数定員適正化計画に基づく定年退職者の不補充や民間委託の推進等により、平成22年4月1日までに職員数を6.7%(28人)削減する。

将来負担の健全度



給与水準の適正度(国との比較)



定員管理の適正度

